

## 令和4年度 第1回 仙台市文化財保護審議会 議事録

1. 開催日 令和4年7月14日(木)
2. 開会及び閉会の刻 14時00分開会 15時20分閉会
3. 開催場所 仙台市役所上杉分庁舎 教育局第1会議室(12階)
4. 出席委員氏名 (会場にて出席) 小野寺健委員  
(リモートにて出席) 笠原信男委員、佐治ゆかり委員、柴田真理子委員、高嶋礼詩委員、永田英明委員、七海雅人委員、馬場たまき委員、深澤百合子委員、牧雅之委員
5. 事務局職員 柴田生涯学習部長、都丸文化財課長、長島主査(調整担当)、長谷川管理係長、工藤整備活用係長、及川調査調整係長、関根調査指導係長
6. 会議の次第
  - 1 開 会
  - 2 あいさつ  
文化財保護審議会会長
  - 3 事務局職員紹介
  - 4 議事録署名人指名
  - 5 報告事項
    - (1) 令和3年度文化財課主要事業の実績について (資料1)
    - (2) 令和4年度文化財課主要事業の予算について (資料2)
    - (3) 令和4年3月16日の福島県沖を震源とする地震によって発生した文化財の被害状況について (資料3)
    - (4) その他
  - 6 事務連絡
  - 7 閉 会

7. 傍聴人 1人

8. 会議の経過及び結果

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 事務局職員紹介

### 4 議事録署名人の指名

会 長 私の他に柴田委員を議事録署名人に指名する。

### 5 報告事項

#### (1) 令和4年度文化財課主要事業の実績について

事務局 (資料1により説明)

会 長 ただ今の報告についてご意見・ご質問はあるか。

委 員 文化財展について、開催期間に対し来場者が少ないのはもったいないと思う。場所を変えられないのか。また、本当に来場者はこの人数だけか。

事務局 来場者数は職員が常駐してカウントしたのではなく、資料の減り具合によるカウントである。前年と比較できるようこれまでと同様の数え方をした。会場の立地は良いので、実際にはもっと多くの方に見ていただいていると捉えている。

委 員 こうした実績報告は後々まで残るものなので、数字が独り歩きをしてしまう。カウント方法は再検討して欲しい。

次に資料の外部貸し出しについて、どのようなものが借りられるのか、具体例を示してもらえれば、もっと活用されるのではないか。インターネットなどで過去に貸し出したものの例や、貸出可能なもののリストは見られるのか。活用してもらいやすい工夫をして欲しい。

事務局 資料の外部貸出の利用状況や、どういうものを貸し出すことができるかは一般に公開していない。出前講座等で一般の方向けに説明する際や出前授業で活用している。

また、研究者からは「この報告書のこのページに掲載されているものを借りたい」といった具体的な要望を受けることがある。報告書に掲載したものは、基本的に貸し出しできるものとして扱っている。どういう資料を使いたいのか、その都度ご相談受けながら、対応していきたい。

- 委員 気軽に問い合わせができる状況を作ってもらいたい。最後に泉ヶ岳のミズバショウの報告書について、もっと周知に工夫するなど、市民の方に成果を知ってもらえる状況にしてもらえればと思う。
- 事務局 ミズバショウの報告書は紙媒体として100部発行したが、市のホームページにも載せており、ネット上でもご覧いただける。市民にもアピールしていきたい。
- 委員 ミズバショウについては長期間にわたって調査したものであり、データを活かすことが重要である。調査によって分かった変化がどういう意味があり、保護していくためには協力体制をどうやって整えるかを、考えなければいけないのではないかと。報告だけでは意味がなく、今後どうやっていくかが大切である。
- 事務局 元々の目的は管理指針を作るということであり、管理指針や現状変更の取扱いをどうするのかをまとめた。指針は報告書に入れ込んでそれを発表したという位置づけである。
- 委員 その先を見据えた上での発表であるべきと考える。今後は、調査の成果を活かした取り組みについて注視していきたい。
- 委員 文化財展の展示は私も楽しみにしているが、確かにお客さんは少ない。しかし、パネルも良くできている。市文化財課は情報発信に一生懸命取り組んでいると感じており、『文化財せんだい』もPDFデータがすべて公開されている。文化財展で使ったパネルも、著作権等に関わらないのであれば、ホームページで公開しても良いのではないかと。また、場所については、もっと人の来てくれそうな場所を考えてみてほしい。新しくできる緑彩館には、文化財を展示できるようなスペースはあるのだろうか。
- 事務局 パネルは一般の方にもご理解いただけるよう、できるだけ優しい表現を使いつつ、専門性を失わないように配慮して作成している。パネルは文化財展の期間中だけではなく、市民センターまつりで展示活動をする際に活用したり、出前授業で再活用したりしてきたが、インターネットでの公開はしていないので、今後検討していきたい。
- 事務局 緑彩館は令和5年にオープン予定の公園施設の一部であり、指定管理が検討されている。担当課によれば展示スペースはあることはあるが狭いと聞いており、こちらで自由に使えるスペースの予定はない。グリーンプラザは使用料が無料ということもあって使ってきたが、市民が多く訪れる場所で他に良い場所があれば、前向きに検討していきたい。
- 会長 グリーンプラザでの文化財展の集客については気になっており、見やすい位置に案内表示してもらいたいなどお願いしたが、会場側との調整で難しいということなので、今後は駅や商店街にポスターを掲示したり、無料ではあるけれど小中学生に券を配るなどの工夫を考えてほしい。
- 事務局 これまでも地下鉄の駅にポスターを掲示し、市の施設等にチラシの配布もしているが、今後はクイズラリーの実施等、より多くの人に見えていただける工夫をしていきたい。

## (2) 令和4年度文化財課主要事業の予算について

事務局 (資料2により説明)

会長 ただ今の報告についてご意見・ご質問はあるか。

委員 2「(1)文化財説明板、標柱の整備」について、令和3年度予算では「587」が計上されているのに、さきほどの資料1の実績では「なし」となっているのはなぜか。また、2「(6)その他」の増額の要因は何か。

5「(1)震災復興発掘調査交付金助成事業」について、令和3年度、令和4年度ともに予算が「0」であれば、この項目自体を書かなくとも良いのではないか。

事務局 2「(1)文化財説明板、標柱の整備」については、予算の比較なのでこの表には載せていないが、令和3年度の実績は確かになく、その分の予算は別の関連事業に使用した。2「(6)その他」は国分寺サミットの予算を計上したことによる増額である。5(1)についてはご指摘のとおり、蛇足だった。

委員 災害は起こるものであると想定しておくことが重要と思うが、今回の地震を踏まえ、普段から点検の予算が付けられているか、お聞きしたい。

事務局 所管施設は、本庁の建設部局により、建物は3年に1回、設備は毎年の点検が行われている。また、資料に載っているのは当初予算であり、前年度中の市議会で承認されたものであるため、3月にあった今回の地震を踏まえた予算ではない。

委員 今言われたのは通常の点検かと思う。意見になるが、3.11(東日本大震災)で崩れなかったところが、今回の地震で崩れた箇所もあったと聞いている。今までの通常の定期的な点検とは別の点検を検討いただきたい。

事務局 3.11で崩れた石垣について、3.11の前に緩んでいた箇所や、崩れかけていた箇所はなかった。今回の崩れ方は3.11とよく似ている。背面構造や地盤の状況を踏まえ、3.11の災害復旧で採用した方法をより進化させる必要があると考えており、仙台城の整備委員会にもその方面の専門家に加わっていただいている。

## (3) 文化財の被害状況について

事務局 (資料3により説明)

会長 ただ今の報告についてご意見・ご質問はあるか。(質疑なし)

## (4) その他

会長 主な報告事項は以上だが、その他として報告する事項について、事務局から説明をお願いする。

事務局 3点ある。1点目は、人事異動に伴って、文化財指定・登録計画検討部会の担当者に

ついて、事務局の担当者が代わった。資料4のとおりである。

2点目として、「全国国分寺サミット2022 in 仙台・陸奥国分寺」の開催についてである。本年は、陸奥国分寺が史跡に指定されてから100年、その歴史を伝えるガイダンス施設は開館5年目を迎える。また、陸奥国分寺薬師堂は、仙台藩初代藩主伊達政宗による建立から415年にあたる。こうした記念の年にあたり、この「国分寺サミット」を開催することで、国分寺建立に込められた天災や疫病鎮静への願いや伊達政宗が復興させ、現代まで続く様々な想いを全国に発信したいと考えている。日程は10月8日土曜日の14時から、聖和学園高等学校のサールナートホールを会場として予定している。後日、担当者よりご案内をお送りする。

3点目として、今年3月に開催した令和3年度第2回文化財保護審議会にてご意見をいただいた際に、検討事項としたものについて、現状の対応状況についてご報告を申し上げる。

ご意見としては大きく2点、いただいていた。まず1点目、文化財の所在等を把握するため、定期的なパトロールが必要ではないかのご指摘である。奇しくも会議があった日の夜に福島県沖で大きな地震があり、その被害状況についてはさきほどご報告をした。状況確認を進める過程において、改めて、日頃から所有者や管理者との情報共有を密に取る必要性について確認をしたところである。今後は、地震被害の調査といった機会によらず、数年に1回は全ての文化財の所有者等に連絡をとるといった確認方法を考えて参りたい。なお、状態を確認した結果、今後、文化財指定・登録を解除しなければならない事例等も出てくる可能性があるため、その場合は別途、ご相談をさせていただきたい。

2点目に、旧姉齒家茶室（残月亭）の移築についてである。現段階では現状変更の手続きがなされ、詳細が明らかになったのでご報告する。移築は、全部材を解体してではなく、曳家と車両による運搬を組み合わせ、建物躯体をほぼそのまま移動させる。移築先へ据え付けした後、木部材の部分修理、壁塗直し、屋根葺き直しを行う。

活用のために、茶室内の「水屋」に置き型シンクを新たに設置し、給排水管を整備して、残月亭内でお茶会などができるようにする。この他、建物の向きや沓脱石の変更、照明・防災設備の整備がなされる予定であるが、詳細は建造物を専門とする永井委員、馬場委員にご指導いただき、現状変更の許可を出した。置き型シンクや蛇口の色などの最終決定は、移築業者決定後に現場を確認しながら行う予定であるので、引き続き、ご指導いただきたい。

なお、移築の現場公開は、安全管理上難しいことから、担当課では移築の様子を動画で記録することを検討している。今後も適宜、情報をご提供する。

また、移築完了後の当該茶室の維持管理については、指定管理者制度によりなされる

予定で選定作業が進められている。指定文化財として適切な管理がなされるよう、具体的な注意事項を示すものを作成する方向で、所管課と調整をしている。

報告は以上である。

会 長 　　ただ今の報告についてご意見・ご質問はあるか。

委 員 　　市の財政が厳しいのは承知しているが、文化財にかけている予算が少ないと感じる。法隆寺のクラウドファンディングの事例もあるし、瑞鳳殿でも実施している。瑞鳳殿のクラウドファンディングの状況が分かれば教えてほしい。予算を集める方法を検討しないといけないのではないか。また、普及啓発事業に長けた人材を活用し、市民の方に率先して文化財をアピールするなど、周知や発信の在り方をもっと検討すべきではないか。

事務局 　　財源については検討をしていかないといけないと考えている。仙台城跡は国指定史跡であるので、まずは国の文化財保護の補助制度を活用していきたい。

## 6 事務連絡

会 長 　　本日予定していた内容は以上だが、事務局より何かあるか。

事務局 　　1点ご連絡がある。今年度は、今回を含めて3回、文化財保護審議会を開催することを計画している。次回の文化財保護審議会は、本年11月から12月ごろの開催を目指している。文化財指定・登録計画に基づき、準備が整ったものの中から、文化財の指定に向けた諮問をしたい案件がある。これに伴い、現地視察の時間を設けたいので、Web会議形式ではなく、会議室に参集いただくことを考えている。また、答申をいただくための第3回文化財保護審議会は、令和5年3月ごろを見込んでいる。

## 7 閉会

会 長 　　これで本日の仙台市文化財保護審議会を終了する。